

コントラクター同士の連携も大事です！

～安房地域のコントラクターで情報交換～

安房農業事務所改良普及課 令和5年1月10日発

かつてない飼料価格高騰の中、自給飼料に対する需要が高まり、自給飼料を収穫するコントラクター（※）同士の横の繋がりがより重要性を増しています。そうした背景から、安房農業事務所では地域内のコントラクター組織、市町、JA、酪農協等を参集し、作業委託料金設定や現在抱えている課題、機械投資に関する計画、今後耕畜連携を進めるにあたって、行政に期待すること等の情報交換を令和5年1月5日に行いました。

会議には管内のコントラクター7組織が参加し、「水稻農家への転作に関する情報発信強化が必要」、「作業効率・品質向上のために団地化が必須」、「ラップ等の資材を共同購入できないか」、「堆肥散布に関して一般住民に対する啓発活動が必要」、「地域計画の策定に協力してほしい」、等の意見がありました。農業事務所では市町等の関係機関と連携し、これらの意見を参考に地域の耕畜連携を進めていきます。

※コントラクターとは、農作業機械と労働力などを有し、農家等から農作業を請け負う組織のことです。



今後の耕畜連携に向け、活発な意見が交わされました